



令和4年度
あぐり親子うきうきクラブ
参加者募集

対象者 JALもつけ管内(栃木市(西方町を除く)・壬生町)在住の3歳以上・小学生までの親子
会費 大人:1人 2,000円/子供:1人 1,000円
実施予定日 4月から12月の期間(全4回 主に土曜日又は日曜日に実施致します)
実施内容 農業体験など
開催場所 JALもつけ管内
募集定員 親子30組(ご応募多数の場合は、抽選とさせていただきます)
申込締切 令和4年1月31日(月)まで
応募方法 JALもつけ営農経済部 営農企画課までハガキ・FAX・メールでご応募下さい。
 〒328-0053 栃木市片柳町2-1-44
 JALもつけ営農経済部 営農企画課「あぐり親子うきうきクラブ」係まで 消印有効
 FAX 0282-23-3234 メール s-eikikaku@ja-shimotsuke.or.jp
 ①ご住所 ②携帯電話番号 ③参加者全員のお名前 ④参加者全員の生年月日(和暦)をご明記下さい。
 ※ご応募の結果は、3月上旬頃ご案内申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症関連にて、開催の延期・中止になる事もありますので、ご承知おきください。



女性大学(シモンちゃんセミナー)第7期生参加者募集

対象者 栃木市(西方町を除く)・壬生町管内在住の20歳以上の女性
募集定員 40名(ご応募多数の場合は新規応募者優先とさせていただきます。)
申込締切 令和4年2月10日(木)迄
受講料 講座内容により材料費がかかります。
開催期間 令和4年7月～令和6年2月(平日予定)
開催時間 午前9時～12時
開催場所 JALもつけニューアプロニー 他
応募方法 氏名・住所・電話番号・年齢を書いて「シモンちゃんセミナー係」迄、
 ハガキ・FAX・メールでお申込み下さい。
 JALもつけ営農経済部営農企画課「女性大学第7期生」係まで消印有効
 FAX:0282-23-3234
 メール:s-eikikaku@ja-shimotsuke.or.jp



第6期生カリキュラムの内容

開催日	開催内容
① 令和2年 7月	開講式・ハーバリウムづくり
② 令和2年 9月	健康体操教室
③ 令和2年 11月	タイルクラフト教室
④ 令和2年 12月	しめ縄作り教室
⑤ 令和3年 1月	絵手紙教室 延期
⑥ 令和3年 5月	野菜作り(ナス)
⑦ 令和3年 7月	香りの粘土教室
⑧ 令和3年 9月	絵手紙教室 延期
⑨ 令和3年 11月	クリスマスリース作り
⑩ 令和4年 1月	閉講式・手芸教室(予定)

JALもつけをもっと深く知ってください もっと身近に感じてください
JALもつけ公式ホームページを閲覧してクイズに挑戦!Nツアー旅行券をゲットしよう!

～日頃のご愛顧に感謝して 3つの問題に答えてあたる3Qプレゼントキャンペーン～

JALもつけの公式ホームページを閲覧し、以下のクイズ3問全問正解した方の中から抽選で3名に、JAグループの一員である(株)農協観光(Nツアー)の支店・旅行センターで使えるNツアー旅行券をプレゼントいたします。

応募方法

- ① JALもつけ公式ホームページをチェック
- ② JALもつけのメールアドレス hp-info@ja-shimotsuke.or.jp にてご応募ください。
 ・件名に「准組合員向け広報紙プレゼント係」と明記
 ・本文に ① 郵便番号 ② 住所 ③ 氏名 ④ 年齢 ⑤ 電話番号 を明記
 ※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます ※ご応募いただいた情報は、JAの事業および各種サービスの提供・ご案内・充実等の目的以外には利用しません



JALもつけHP

- ① 直売所ポイントカード「ポチカ」は、あるキャッチフレーズを略したものとなっています。では「ポチカ」の正式名称は何でしょうか?
- ② JALもつけ葬祭ホールは管内に7カ所あります。その中でも、大平地区にある、昨年12月にオープンした小規模葬対応ホールの名称は何でしょうか?
- ③ JAグループ栃木では、人手を求める農家と農業で働きたい地域住民をマッチングする無料職業紹介事業を行っています。令和3年3月末時点での求人充足率(採用者数/求人数)は何%でしょうか?



准組合員向け広報紙「JALもつけTOPICS」は、准組合員世帯1戸に対して、1部の送付とさせていただきます。ただし、まれに複数部届いてしまう場合がございます。その際は、予めご了承くださいませ。

TOPICS

vol.4
2021.11



准組合員向け広報紙

<https://www.ja-shimotsuke.jp/>



**これからもJALもつけを
よろしくお願い申し上げます。**

常勤役員ごあいさつ 下野農業協同組合 代表理事組合長 長 昌光

日頃よりJALもつけをご利用いただき誠にありがとうございます。
 私は、今年5月の役員改選により代表理事組合長に就任いたしました長 昌光と申します。
 当JAでは、准組合員の皆さまにJAをより深く知っていただき「農業振興の応援団」となっていただくために、准組合員向け広報紙「JALもつけTOPICS」第4号を発行いたしました。
 昨今、コロナ禍により以前に比べて活動の制限はありますが、今後も金融・共済事業をはじめとする日常の業務における利用者サービスはもちろんのこと、食育活動や農業体験等の「JAくらしの活動」の取り組みを通じて、准組合員の皆さまが地域農業やJA事業に対する理解をさらに深められるよう取り組んでまいります。
 これからも地域の生活インフラ機能を担う「なくてはならない・必要とされるJA」として「持続可能な農業」と「地域共生の未来づくり」を進めてまいります。

令和3年11月



代表理事専務
野口浩志



常務理事(総務経済)
柴田久雄



常務理事(金融共済)
高久春男



常勤監事
高橋輝好

TOPICS CONTENTS
～今回の読みどころ～

- 1面 常勤役員ごあいさつ
- 2～3面 JALもつけが取り組むSDGs
- 4面 JAからのお知らせ

ページをめくって下さい▶

open here

SDGs

持続可能な開発目標



JAしもつけ

近年、SDGs(エスディージーズ)という言葉が世界中で注目されています。これは、国連で採択された世界共通の目標であり、世界各国、日本においても取り組みが進められています。SDGsと多くの理念・精神を共有するJAグループの事業や活動は、地域社会の課題解決に貢献し、SDGsの達成に貢献するものです。

SDGsには5つの特徴があります

- 透明性
- 統合性
- 参画型
- 包摂性
- 普遍性

定期的なフォローアップ

社会・経済・環境に統合的に取り組む

全てのステークホルダー(利害関係者)が役割を

先進国を含め、すべての国が行動

人間の安全保障の理念を反映し「誰一人取り残さない」

より良い地域社会の実現を目指して JAしもつけの取り組み

持 持続可能な開発目標(SDGs)を達成するために、JAしもつけでもさまざまな取り組みを行っています。JAの取り組みに、組合員の皆さん一人ひとりが賛同・参加することが目標達成には欠かせません。私たちJAしもつけとともに、より良い社会の実現を目指しましょう。

3 すべての人に健康と福祉を

目標 **すべての人に健康と福祉を**

ペットボトルキャップを回収しポリオワクチンに

JAしもつけ女性会は「ペットボトルキャップ回収運動」に取り組んでいます。回収したペットボトルキャップの代金は「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付し、ポリオワクチンの購入代となります。なお、JAしもつけ女性会では、現在新規会員を募集中です。農家でも農家でない人でも誰でも気軽に参加できます。お問い合わせは 営農経済部営農企画課 ☎0282(20)8828まで



集まったペットボトルキャップとともに

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

目標 **飢餓をゼロに すべての人に健康と福祉を 質の高い教育をみんなに**

「くらしの活動」で衣・食・住に関する様々なノウハウを「学習」



JAしもつけ女性大学(通称シモンちゃんセミナー)にて

JAしもつけでは、組合員・地域住民の皆さまが安心して暮らせる豊かな地域づくりの実現に向けて、子どもたちの農業体験・食育活動を目的とした「めぐり親子うきうきクラブ」や地域の女性を対象に仲間づくりや生きがいの場を提供することを目的とした「JAしもつけ女性大学」などの各種「くらしの活動」を展開しています。最新の「くらしの活動」参加者募集情報については、この広報紙4面に掲載しております。皆さまのご参加をお待ちしております。

今回ご紹介したのは、ほんの一例です。この他にも、JAグループが取り組む多くの活動が、実はSDGsにつながっています。SDGsとJAグループについて、より深く・広く知りたい方は<https://org.ja-group.jp/challenge/sdgs/>へアクセスあるいは

JA SDGs

検索



JAしもつけイメージキャラクターシモンちゃん

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



3 すべての人に健康と福祉を

11 住み続けられるまちづくりを

目標 **すべての人に健康と福祉を 住み続けられるまちづくりを**

認知症サポーター養成会の実施により 認知症への正しい知識学ぶ

JAしもつけでは、毎年認知症サポーター養成会を開いています。職員が認知症を正しく理解し、高齢者が安心して暮らせる地域社会・安心して利用できるJAづくりが目的です。今までに400人以上の職員が受講し、認知症サポーターの認証を受けています。



認知症サポーター養成会の様子

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナーシップで目標を達成しよう

目標 **住み続けられるまちづくりを パートナーシップで目標を達成しよう**

地元地域とのパートナーシップでよりよい地域づくりに貢献



「ながら見守り活動」のステッカーを手にする支店職員

JAしもつけでは、地元の栃木市や県立栃木農業高校、栃木市商工会議所等の各団体との包括連携協定を締結し、より良いまちづくりや地域振興等に貢献しています。また、栃木市の地域見守りネットワーク事業所として、地域の安全・安心に貢献しています。さらに、昨年10月から栃木西支店では、栃木市吹上地区まちづくり協議会が進める地域の防犯活動「ながら見守り活動」に参加。業務のかたわら子どもたちの登下校を見守ります。